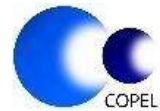


【主催】公益財団法人都市活力研究所、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科

ライフサイエンスアントレプレナー入門塾2020
2020年9月19日(土)13:00～18:00

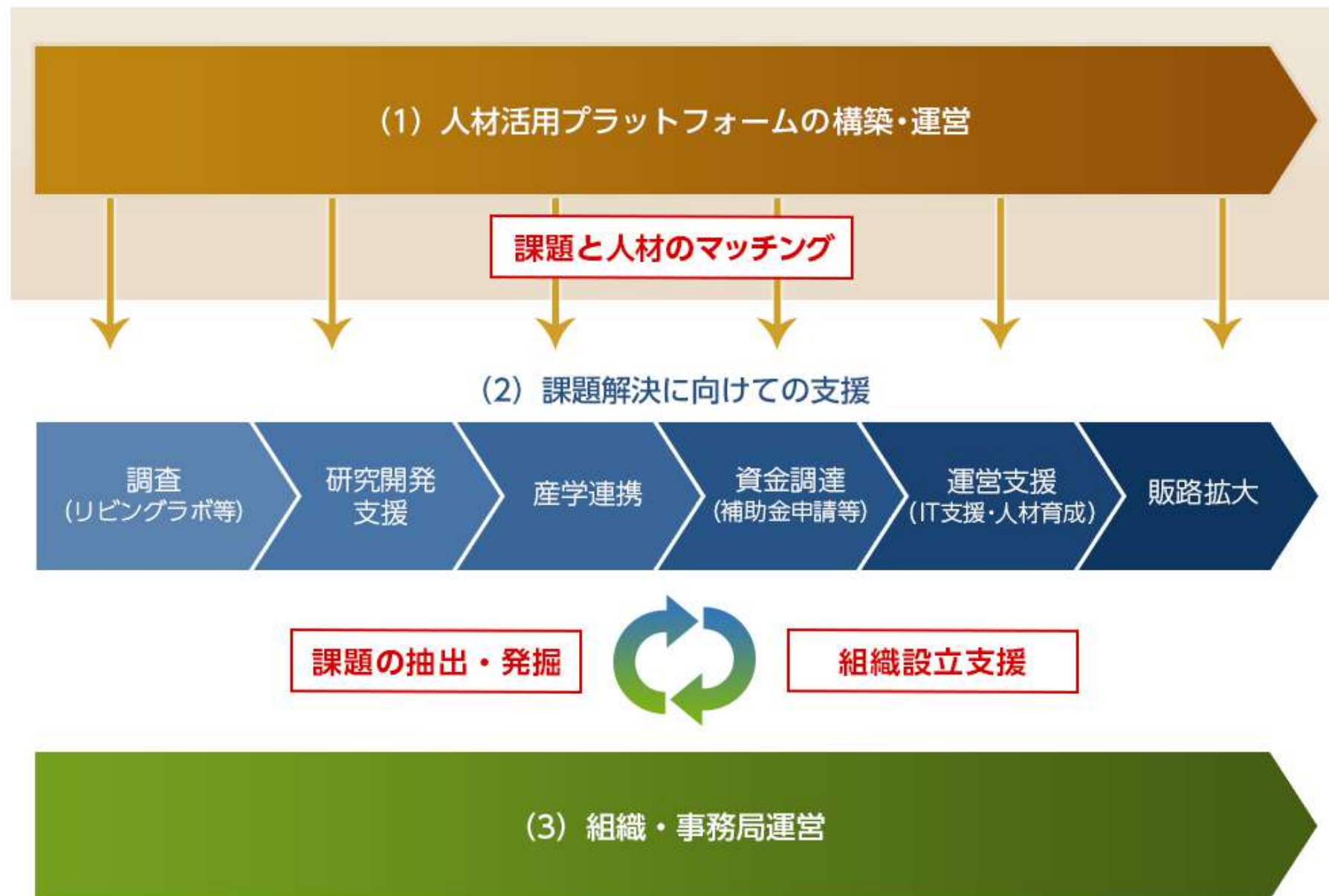
ヘルスケア産業の支援事業とその課題



株式会社 COPELコンサルティング

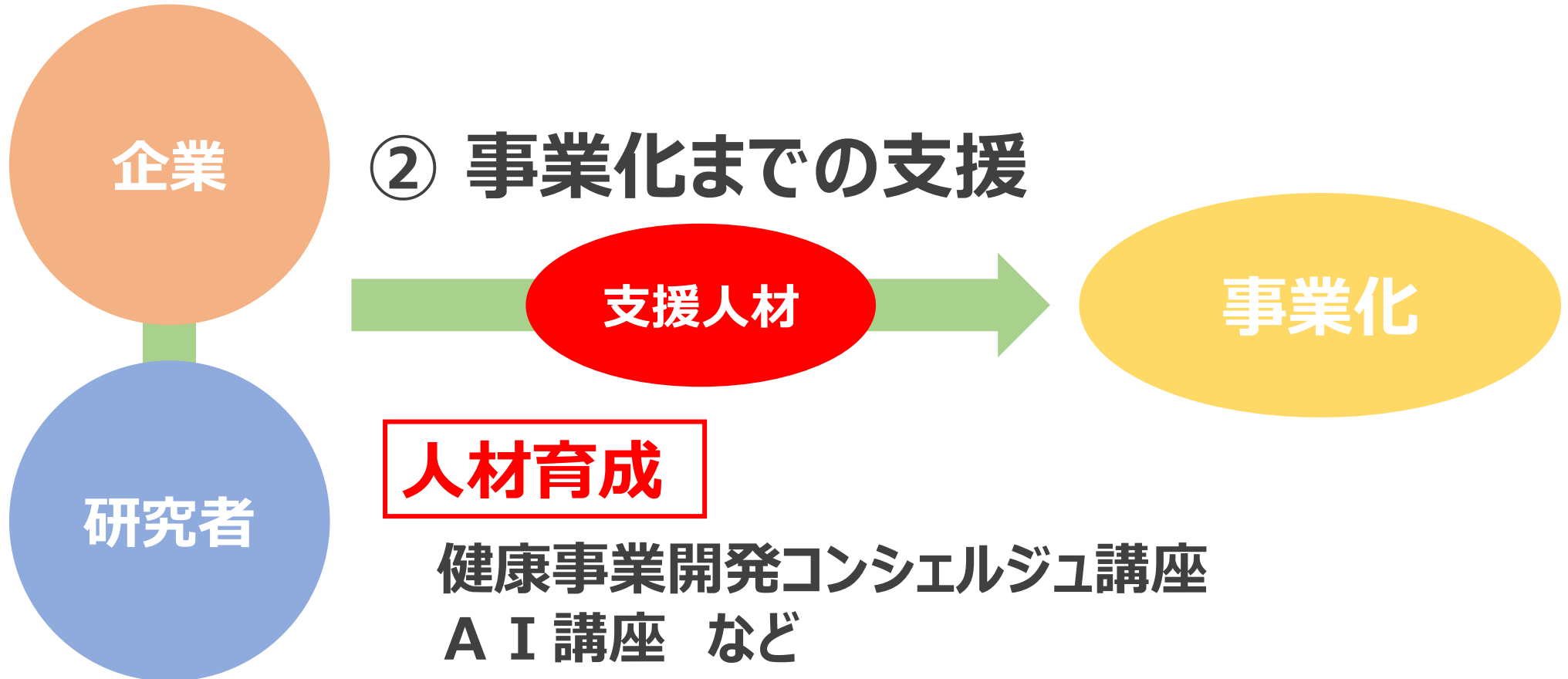
代表取締役CEO 小島 ゆかり

COPELコンサルティングの事業内容



ヘルスケア分野での

① 企業と研究者のマッチング



ヘルスケア関連人材を育成する講座①

①健康事業開発コンサルジュ講座



健康「生き活き」設計院
ヘルスケア産業で活躍できる人材//
**健康事業開発
コンサルジュ
講座**
2019年9月～11月開講

健康事業開発コンサルジュとは
ヘルスケア分野の知識を持ち、ヘルスケアの事業開発や
新規参入を行う企業に対して先導的な役割を担う専門人材

受講者イメージ

- 大企業で定年が近い研究者、技術者
- 管理士、社会保険労務士、中小企業診断士などの有資格者
- 産業支援機関で活躍しているコーディネーター
- 健康分野の知識を持ち、経験や知識をいかした仕事がしたい人

講座卒業生に活躍の場を提供！
(リサーチ開発事業での人材活用)

健康事業開発コンサルジュ
人材バンク (原稿)

➡2021年1～3月実施予定

② A I 講座



本講座は、2019年産国立研究開発法人理化学研究所「健康」生き活き 脳計量
リサーチコンプレックスが主催したものを継承するものです

COPEL
株式会社COPELコンサルティング

健康事業開発コンサルジュ特別セミナー

AI 講座 2020

現代の人工知能、機械学習の基礎を
脳の情報処理方式を模倣したニューラルネット
ワークを中心として基礎から応用まで学ぶ講座

■ 日程 <講義編 (基礎)> 5/ 9 (土)～6/13 (土) ※全3回 (土)13:00-16:20
<実習編> 6/27 (土)～9/19 (土) ※全6回 (土)13:00-16:20
<講義編 (応用)> 10/3 (土)～10/31 (土) ※全3回 (土)13:00-16:20

■ 会場 billage OSAKA+ セミナールーム (株式会社 MJE 内)
(大阪市中央区久太郎町4丁目1-3 大塚センタービル6F)
※WEBシステムによる遠隔受講も可能です

■ 参加費 (1) 講義編+実習編: 35,000円
(2) 講義編のみ: 20,000円
(3) 実習編のみ: 20,000円 (すべて税込み)

■ お申込み 株式会社 COPEL コンサルティング AI 講座運営事務局 Email: event@copeles.jp
件名を「AI 講座申込み」とし、お名前・ご所属・役職・連絡先アドレス・ご希望の受講方法
(会場での受講、又はWEBシステムでの受講) をご記入のうえ、メールでお手続きください。

【主催】株式会社 COPEL コンサルティング
【協力】理化学研究所「健康」生き活き 脳計量リサーチコンプレックス

➡2020年5～10月実施
※11月からコンテンツ販売開始

ヘルスケア関連人材を育成する講座②

③ ウェルネス講座



オンライン講座

カラダ・心・環境の健康について学ぶ！
健康事業開発コンサルシエジュ

ウェルネス講座

ヘルスケア分野におけるカラダ・心の健康とその環境について学ぶ講座を開催し、事業開発担当者及び支援コーディネーターの人材育成を行うとともに、事業開発に有用な交流の機会を提供する特別講座です。ウェルネスとは単なる健康な身体づくりだけでなく、自分自身に合った最高のライフスタイルを築くことを究極の目的としており、人生に自ら責任を持つことを基本としています。QOLへの関心が高まり自ら主体的に取り組めるプログラムが求められるなか、ウェルネスとは何であるか？を体験を通して学びます。地域の健康づくりや心身の保養、ロコモティブシンドローム予防に貢献するために、そのノウハウを学び活かしていただくための講座です。今回の講座は、座学中心のものではなく、グループディスカッション等の体験を取り入れたワークショップ形式で実施します。

- 講師：西村 典芳 関西国際大学 現代社会学部 観光学科教授
日本ウェルネスウォーキング協会 会長
- 会場：オンライン開催 (zoom 使用)
- 対象：健康分野の知識を持ち、健康分野の知識をに活かした仕事をした方
産業支援機関で活躍しているコーディネーター等
- 受講料：3万円 (税込)
事前にお振込みをお願いします (振込期限：8月22日)
- 定員：30名
- 開講日：8月29日 (土) ~ 5月29日 (土)
※全10回シリーズ、開催時間は16:00~18:00 ※詳細は裏面をご覧ください

➡2020年9~2021年5月実施

④ バイオマテリアル講座



人材育成セミナー
再生医療また医療機器の開発に用いる材料

第1回：バイオマテリアル開発のエッセンス

“再生医療また医療機器の開発に用いる材料開発”を行うためには、化学・材料工学・生物学・医学を基礎とする極めて広範な学問領域の深い知識が必要である。今回、この領域に40年近く携わってきた大阪大学 明石浩先生、京都大学 木村俊作先生と理化学研究所 岩田博夫先生が、バイオマテリアル開発のエッセンスを紹介する。第2回目以降は、受講者の興味・関心に応える講義、また、新たな講師を招聘するシリーズ講義にしていく。

日時：2020年2月28日 (金) 13:00-19:00
会場：兵庫県神戸市中央区港島南町 6-7-3 MI R&D 2F 大会議室
参加費：1万円 (事前振込) (ポータルライナー 先着医療センター取 定価3分)

【プログラム】

13:00-14:30 生体材料から再生医療へ
若い人と医療用具の共同開発をしていると、「生体適合性材料」でつくるので「未来！」と言われて二の句が聞けなくなることがある。講義の最終に、例え二の句が聞けないのが含意で「生体適合性材料」についての私の考えを紹介する。その後、高分子材料の観点から血管管状治療用デバイスを開発し、さらにインスリン感受性細胞膜の再生医療の取り組みについて紹介する。

14:35-16:05 ナノ粒子の静電相互作用と免疫系との関係
ナノ粒子を体内投与したとき、1) 免疫系に気づかれない、2) 免疫系に気づかると免疫が制御される、3) 免疫系が反応する、の3パターンがある。それぞれの例について紹介し、ナノ粒子の構造と関係づけを解説する。試験管型や乳頭プラスコ型など多様なモルフォロジーを設計できる分子集合体についても解説し、非対称性の分子集合体として、表裏を区別した free-standing ナンシート分子集合体を紹介する。ナンシートの応用例として、不織布繊維構造への状態固定化を行い、アフレスシスに用いるフィルタ開発を紹介する。

16:10-17:40 ビルディングブロックサイエンスによる3D生体組織の構築
積み木の化学により様々な材料が生み出されている。IPS由来細胞を用いる3次元 (3D) 生体組織構築に挑戦している。高分子科学から生まれた交互疎層 (IL) 法を、生体組織に存在する細胞外マトリックス (ECM) 基質に応用することにより、様々な3D組織が得られる。血管網含有組織が得られ、この生体組織操作で得られる組織は実験動物体内で生着し血管網が繋がる。ヒトIPS由来心筋細胞を用いた心臓組織 (hL3D Heart)、国際標準化で要求されるバリテーションが終了している皮膚モデル (hL3D Skin) 等を紹介し、再現性を担保するための製造工程の自動化にも触れたい。

17:45~交流会開催

【申し込み】 所属・氏名・連絡先 (アドレス) をご記入のうえ、event@copelcs.jp 宛にメールにてお手続ください。

主催：株式会社 COPPEL コンサルティング <共催> 健康「生き活き」産科計リサーチコンプレックス

➡2020年11~12月実施

人材活用プラットフォームで目指していること

- **ヘルスケア分野の産業創出に貢献**
シーズ・ニーズ情報の集積、マッピング
- **中小企業が持っている技術・ノウハウの再発見**
- **働きがいのあるフィールドの開拓・開発**



神戸リサーチコンプレックス協議会

運営主体：神戸市、兵庫県

参画企業・団体数：68社・機関



「個別健康の最大化」を目指した「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」（主体：理化学研究所）を継承する組織として設立。当協議会では、神戸医療産業都市という医療産業創出基盤を活かし、「ヘルスケア分野のエコシステムを神戸に創る」ことを目的に、ヘルスケア産業が創出される土壌を醸成し、その成果を広く社会に還元します。

（神戸リサーチコンプレックス協議会ホームページ抜粋）

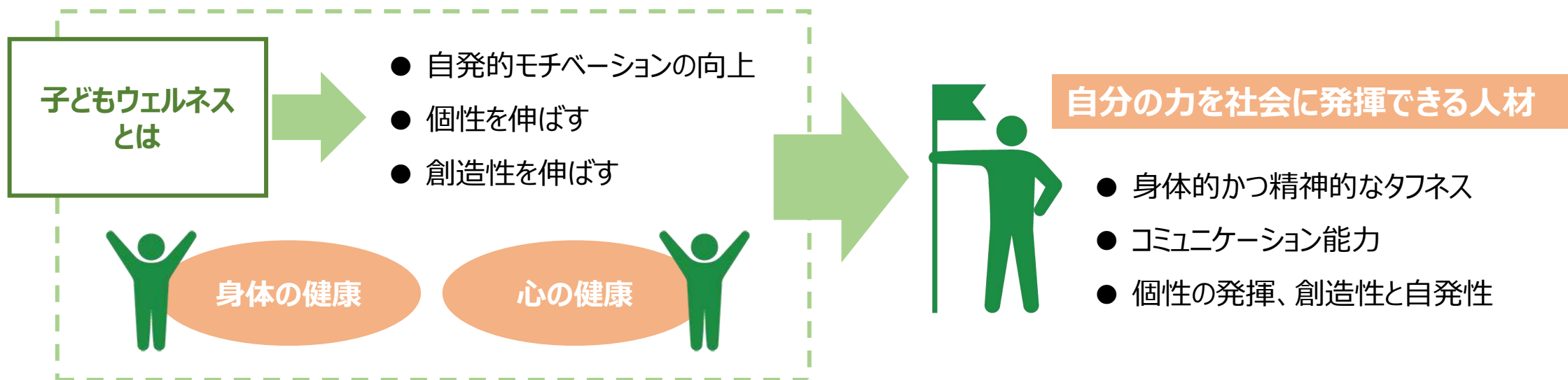
子どもウェルネス創出事業化コンソーシアム

運営主体：大阪市立大学 健康科学イノベーションセンター

座長：水野 敬（大阪市立大学 健康科学イノベーションセンター センター副所長）

参画企業：

江崎グリコ株式会社、株式会社学研エデュケーショナル、株式会社COPEL コンサルティング、積水ハウス株式会社、株式会社ダスキン、西川株式会社、株式会社ファミリア



組織・事務局運営③

子どもたちのウェルネス問題を、多面的なエビデンスに基づく社会環境の基盤構築により解決する

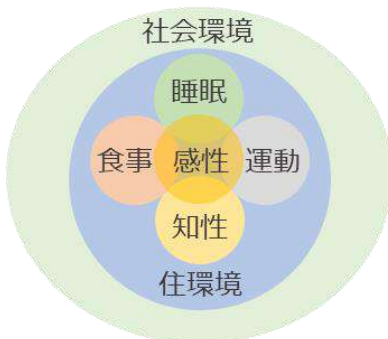


子どもウェルネスによるコミュニティ・デザイン



未来ビジョン

子どものウェルネス向上の要素



多面的なエビデンス

ウェルネスソリューションの創出

子どもウェルネス創出事業化コンソーシアム

子どものウェルネスソサエティの実現



大阪市淀川区をフィールドにした地域プラットフォーム構築



ウェルネス可視化技術+地域連携型リビングラボ+産学官協働プロセスデザイン

地域連携・評価

大学・企業のノウハウと子どもの主体性をつなぐ
子どもへのトライアル研究

リビングラボ

地域住民・子どもを主役に、研究者等が集う
対話型協働探究の場



未来ビジョンの設定・課題設定

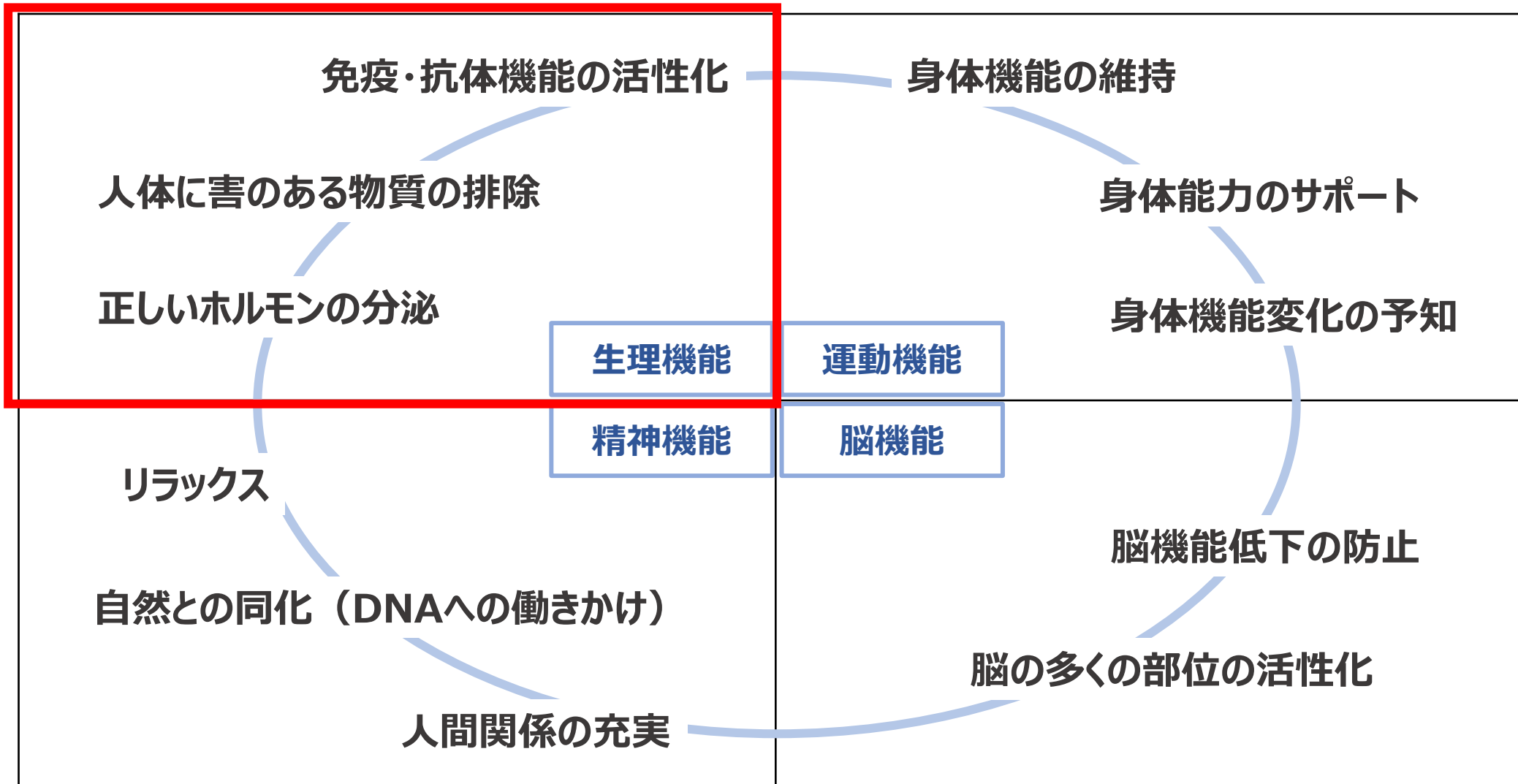
仮説の構築

実施・検証・評価

社会実装デザイン

そもそもヘルスケア分野とは・・・

生涯健康を保つ手法



ヘルスケア分野での研究開発課題

大企業

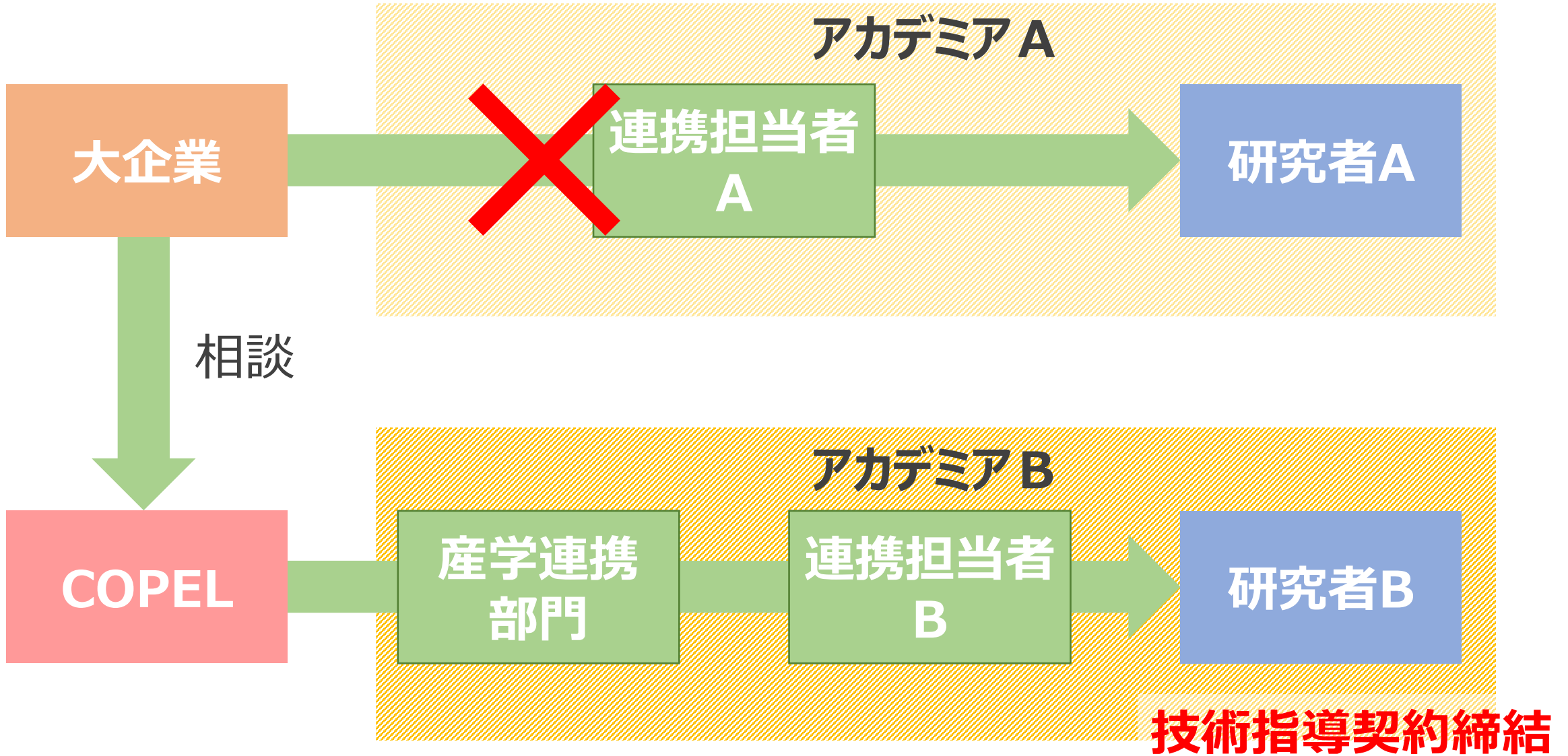
自社がやりたい事業の専門家が
どこにいるのか分からない・・・
アプローチする時間的なロスが大きい！

中小企業

そもそも大学や研究機関の研究者に
アプローチする方法が分からない・・・



自分自身が体験した事例



大企業が研究開発で困っていること

アプローチする時間的なロスが大きい！

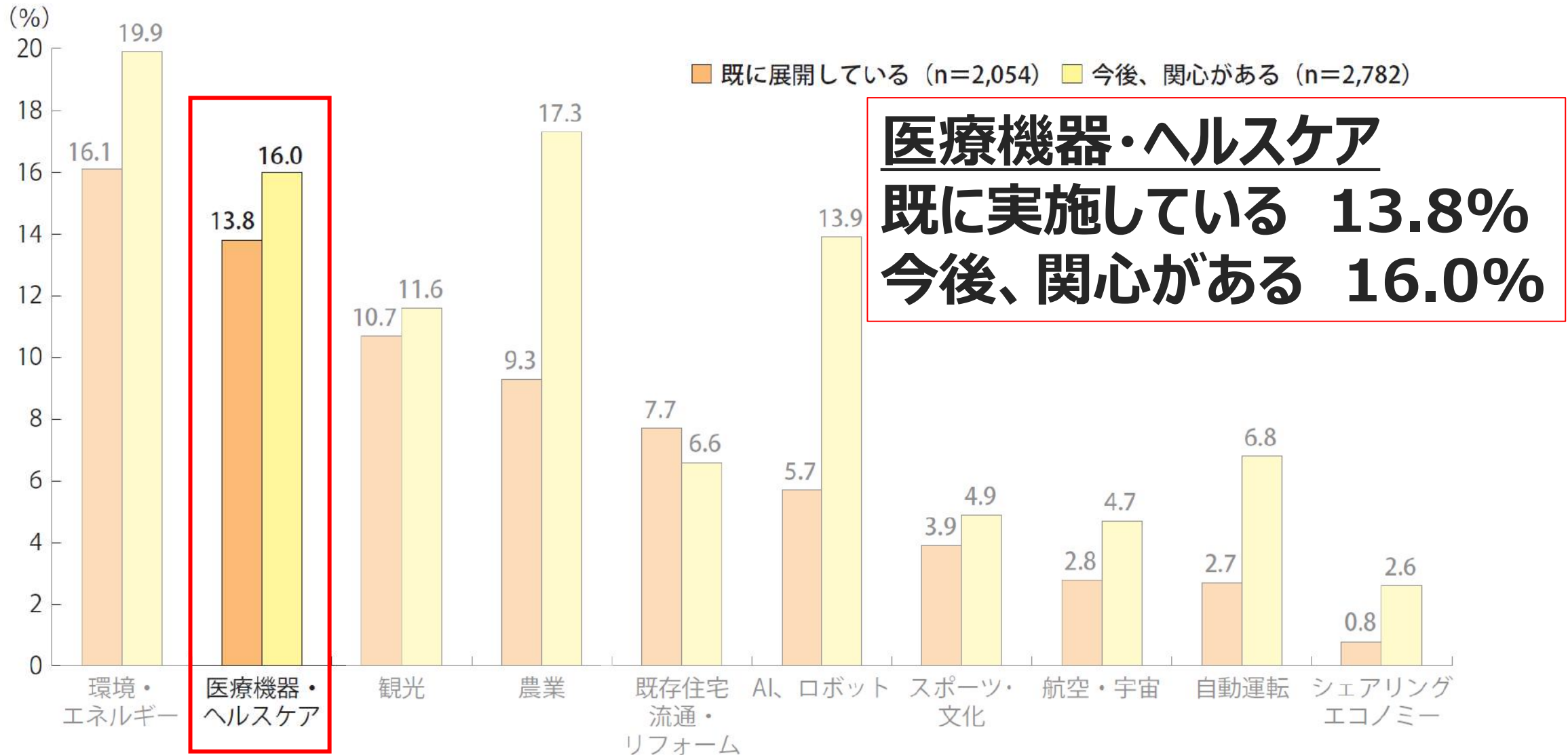
アカデミア A ➡ 約 6 ヶ月

アカデミア B ➡ 約 2 ヶ月

技術指導契約締結までに約 8 ヶ月以上

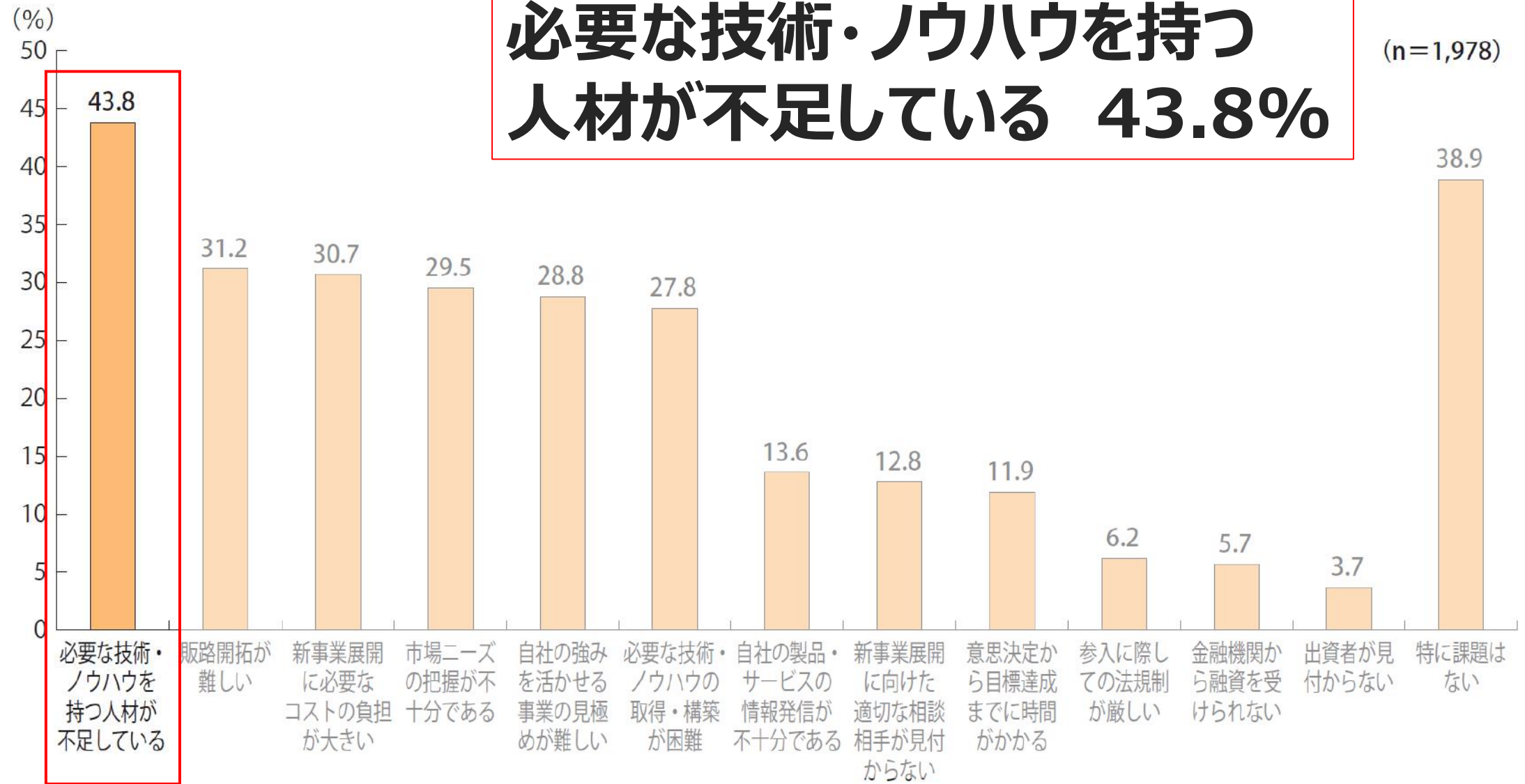


中小企業の関心のある新事業分野



資料：中小企業庁委託「中小企業の成長に向けた事業戦略等に関する調査」（2016年11月、(株)野村総合研究所）

新事業展開を実施していない中小企業の課題



**必要な技術・ノウハウを持つ
人材が不足している 43.8%**

中小企業が研究開発で困っていること

そもそもアプローチ方法が分からない！

- **自社が求めている研究者や試験機関はどこなのか**
- **エビデンス構築って？ 論文化するための試験とは？**
- **そもそも自社の製品で、エビデンス構築はできるのか**

研究者と企業側の文化の違い

- 時間軸が違う
- 研究に対する理想と現実



最初の目的は同じだったとしても・・・

- 企業間の文化の違い
- 研究費など金銭的な問題
- 自社の利益を追求

徐々にトーンダウンしてしまう・・・



かけはしとなる人材や組織が必要なのは・・・

- 研究者と企業間の翻訳者
- 継続して実施する手段や仕組みづくり
- 目標のために多様性を活かしたチームづくり

点と点を繋ぐ線、囲む枠の重要性





株式会社 COPEL コンサルティング



コペルニクスの転回



すばらしいチームを構築して
チームで面白い発見をしていきたい！